

発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町1-53

岡山県民会館3F

TEL (086) 214-3911

2025年6月号 No.374

URL:https://www.okayama-min-iren.org

平和のつどい夏

2025年7月19日(土)

場所:コムコム会館

主催:岡山医療生活協同組合

おかやま民医連

MIN-IREN

はじめまして民医連～県連新入職員研修～



休憩時間は全員でストレッチ

4月7日(月)、岡山国際交流センターにて県連新入職員研修を行い、97名が参加しました。
参加者は法人や職種の異なるメンバーでグループに分かれ、はじめにアイスブレイクで自己紹介をした後、県連ジャンボリー委員の進行で「謎解きゲーム」に挑戦しました。現場でのチーム医療を意識して、グループで積極的にコミュニケーションをとりながら答えを見つけていました。
その後、山本明広県連会長より「私と民医連」と題して講演いただきました。学生時代から就職後も法人内、全国の民医連の仲間とつながって活動してこられた様子をお話しされました。青木弘人県連教育委員長からは、岡山県民医連や県連内各法人の成り立ちについて



JB委員も要員として参加



JB企画「謎解き」は難しい



青木教育委員長の講演は民医連の歴史



下の二次元コードにアクセスして動画を楽しまう!

て講演。どの法人も地域住民のニーズに添えてつくれたこと、朝日訴訟や水島公害、森永ヒ素ミルク事件、過労自殺などときどきの社会問題に住民の立場に立つてとりくんできたことが話されました。
参加者は、講演や感想交流を受けて「半年後になりたい自分」を考え、グループで共有しました。
池橋 陽子 (県連教育委員)

新入職員歓迎ソフトボール大会

5月3日(土)、岡山県環境保健センター内尾広場にて、岡山県民医連2025年新歓ソフトボール大会を開催しました。岡山、倉敷、林法人とソワニ工看護専門学校からも参加があり、8チーム140名の参加でした。新入職員も22名参加いただき、お昼休憩には、各チームで様々な工夫が行われ、お弁当だけでなく、かき氷やアイス等も振る舞われ、楽しい時間を過ごすことができました。大会は、2つのブロックに分かれて総当たり戦を行い、勝ち上がった岡山医療生協の「チーム友達」と林病院①チームで決勝戦を行いました。岡山が初回に大量得点で優位に立ちましたが、林がじわじわ追いつき、最後にはサヨナラ勝ちで2連覇を収めました。今後もこのように多くの職員が共催行事に参加してくれることを望みます。

風早 和広 (県連事務局次長)



新入職員の自己紹介



家族奉仕も忘れずに



かき氷は林病院提供



2連覇した林①チーム

点滴

「災害の教訓と、地域とともに歩む備え」
3月23日に岡山市南区で発生した山火事は、ひだまり

の里病院からも炎が見えるほどで、自然災害の脅威を改めて痛感する出来事でした。幸いにも病院への直接の被害はありませんでしたが、停電や延焼への不安、一部道路の通行止めによる職員の通勤や物資納品の影響など、日常の脆さを実感しました。▼また、避難指示区域に住む職員の安否確認、橋が封鎖された場合の対応など、備えの必要性がより現実的な課題として浮き彫りとなりました。心理的にも「眠りが浅くなった」という声が多く、災害は心にも大きな影響を与えるのだと感じています。▼そんな中、民医連内の関係者の方々からも温かいお見舞いの言葉をいただき、支え合いました。また、地域とのつながりが情報共有を助けてくれたことも、心強い支えでした。なかでも「カモメ朝市」での交流が、信頼と連携の土台となっていたことを実感しています。▼この朝市は、当院が地域に貸し出した空き家「コミュニティの里」がきっかけで生まれたイベント。地域の皆さんのつながりが、こうして力を持つことを誇りに思います。▼4月13日には、山火事の被害に負けず、地域の皆さんがカモメ朝市を開催されます。当院もその志に心からの敬意を表し、これからも地域と共に、備えと支え合いの輪を広げてまいります。

(K)

新入職員からのメッセージ

おかざき あや 岡崎 彩 (岡山協立病院・看護師) 座右の銘「元気があれば何でもできる」

療養生活は患者さんにとって制限や苦痛を伴います。その中で少しでも笑顔になれるように今の自分には何が出来るのかを考え患者さんの想いや生活に寄り添った看護をしたいです。知識や観察力を身につけ、持ち前の明るさと元気で患者さんやご家族と関わり、その人らしい生活を送れるケアを提供できるように努力していきたいと思ひます。



はいごう あやか 拜郷 彩佳 (コープ倉田歯科・歯科衛生士) 座右の銘「有言実行」

まずは、歯科衛生士として基本的な業務を行いスキルを身につけたいです。日々学び続け、確かな知識と技術を持って患者さんに寄り添い信頼される歯科衛生士になりたいです。疑問点は積極的に質問し、1日でも早く戦力になれるよう精一杯頑張ります。初心を忘れず、様々なことに挑戦していきます。よろしくお祈ひします。



ふじわら あきこ 藤原 明子 (水島協同病院・研修医) 座右の銘「石橋を叩いて渡る」

水島協同病院に入職いたしました。座右の銘の通り、患者さんに安心して診療をお受けいただくために二年間の初期臨床研修を着実に積み重ねていきたいと考えております。若輩者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお祈ひいたします。



ふじわら あやか 藤原 綾花 (林道倫精神科神経科病院・精神保健福祉士) 座右の銘「不撓不屈」

私は患者さんに包括的な医療を提供するために、一人ひとりの思いや背景を大切に、その人らしい生活を支えることのできる精神保健福祉士を目指しています。また、民医連の理念に共感し、民医連の皆様や地域の方々と協力しながら誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて尽力していきます。これからどうぞよろしくお祈ひいたします。



まつだ さき 松田 卓紀 (さくら苑リハビリセンター・介護士) 座右の銘「千里の道も一歩から」

この4月より岡山中央福祉会に入職しました。人と人とのつながりが重要な職種であるとこれまで以上に実感している毎日です。その中でもその人らしく過ごすことができるように利用者さまの思いに耳を傾けることを大切にしています。今後も先輩職員の方々から指導や助言をいただきながら日々成長できるよう精一杯頑張ります。



やぶき ゆう 矢吹 優 (水島協同病院・薬剤師) 座右の銘「いつでも真っ直ぐ!」

この度、水島協同病院に薬剤師として勤務することになりました。近年、医療を取り巻く環境は高齢化やライフスタイルの多様化、技術の進歩等を背景として変化しています。その中で私は時代の流れに沿ったニーズを考え続けられる薬剤師でありたいと思っています。今後、謙虚な姿勢を大切に尽力してまいります。よろしくお祈ひします。



県連出向職員の紹介

4月より、岡山医療生活協同組合から岡山県民医連に出向になりました。医学生担当者として、将来民医連職員として働く未来ある医学生が民医連の事を知り、学びあえる環境を築いていきたいと思ひています。初めて担当する業務で不安な事や分からない事も多いのですが、学生と共に学び前職での外来業務経験を活かせるように頑張ります。

同組合から岡山県民医連に出向になりました。



須々木 寿子

4月号読者カードより

先輩方からメッセージをいただき、元気をもらいました。民医連のつながりを大事にしながら、もっと成長していきたいと思ひます。 H・S (林道倫精神科神経科病院)

岡山協立病院さんと水島協同病院さんがJCEP「エクセレント賞」を受賞されたことを知りました。同じ民医連の仲間として心強く思ひます。 Y・M (林道倫精神科神経科病院)

各法人に多くの新入職員が入職して、一緒に地域の健康づくりがすすめられるよう、新しい職員の発想や意見を大切に新しい取り組みもしていきたいと思ひました。 H・O (岡山協立病院)

奨学生平和学習 in 沖縄

3月10日(月)～3月13日(木)の3泊4日で、岡山県民医連奨学生5名の平和学習が行われました。今回訪れたのは沖縄県で、この日の現地学習に向けて沖縄県の文化や音楽、基地の危険性、戦争の歴史などを約1年かけてみんなで事前学習しました。



沖縄県連の奨学生(右下)と一緒に

当日は、現在岩手医科大学に通う沖縄県連奨学生にも参加してもらいました。道中、「県外に出て初めて戦闘機の騒音がどれほどのものか実感した。今でも帰省するとその大きさにびっくりするけど、家族は平気そうにしている。自分も沖縄



平和祈念公園

で暮らしている時は平気だった」と語ってくれました。戦後80年を迎える今年、この学習がこれまでの歴史とこれからの平和について考える最初の一歩になってくれたらいいなと思ひます。

吉田 幸奈 (県連事務局)